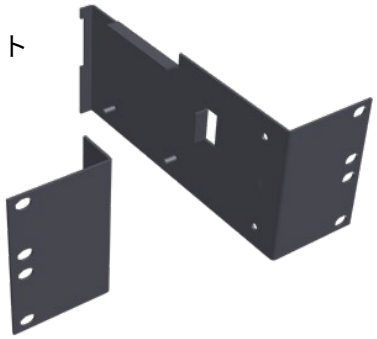
Cambridge Qt® X
コントローラー用アクセサリー

取付ガイド

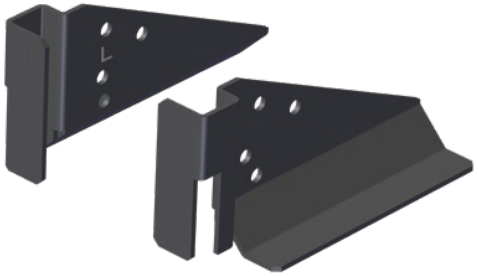
Connecting people through extraordinary audiovisual experiences™

ラックマウントキット



ウォールマウントキット

プレナムマウントキット



アクセサリー

Qt® X コントローラーアクセサリー

ラックマウントキット (Qt X RMT-KT) —— Qt X 300 / 600 / 800 をラックに取り付けるためのキットです。ラックマウントブラケットと取付金具が付属します。本書では、ウォールマウントから変更する場合（Qt X 300/600）や、ラックに取り付ける場合（Qt X 800）の取付方法を説明します。

ウォールマウントキット (Qt X WMT-KT) —— Qt X 800 / 805 を壁に取り付けるためのキットです。ウォールマウントブラケットと取付金具が付属します。本書では、ラックマウントから変更する場合 (Qt X 805) や、壁に取り付ける場合の取付方法を説明します。

プレナムマウントキット (Qt X PLMT-KT) —— Qt X 300 / 600 / 805 をプレナムスペース（天井裏）に取り付けるためのキットです。ブラケット（ペア）が付属します。本書では、ラックマウントから変更 (Qt X 805) する場合や、壁付から変更 (Qt X 300/600) する場合の取付方法を説明します。

ラックマウントブラケットの取り付け

Qt X 300 / 600 コントローラーの場合、手順 1 から始めてください。Qt X 800 コントローラーの場合、手順 3 から始めてください。

1. ウォールブラケットが取り付けられている場合、ウォールブラケットをコントローラーから取り外します（図 1）。M4 ネジは保管しておいてください。
2. 電源と電源サポートブラケットをウォールマウントブラケットから取り外します（図 2）。

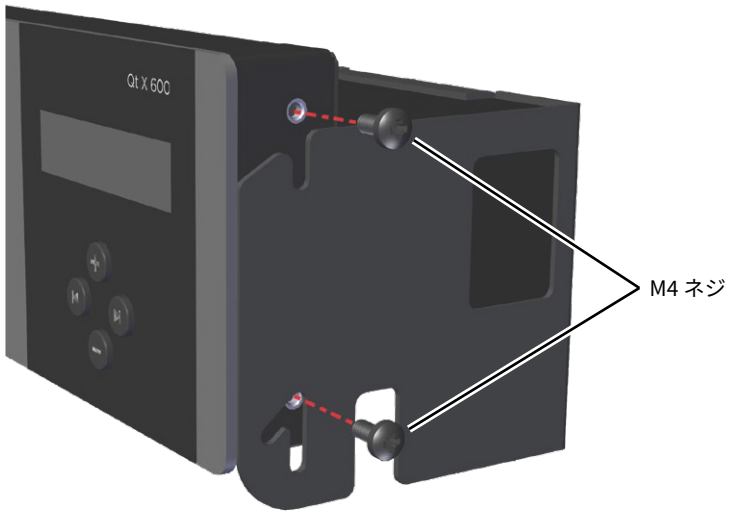


図 1 コントローラーからウォールマウントブラケットを取り外す

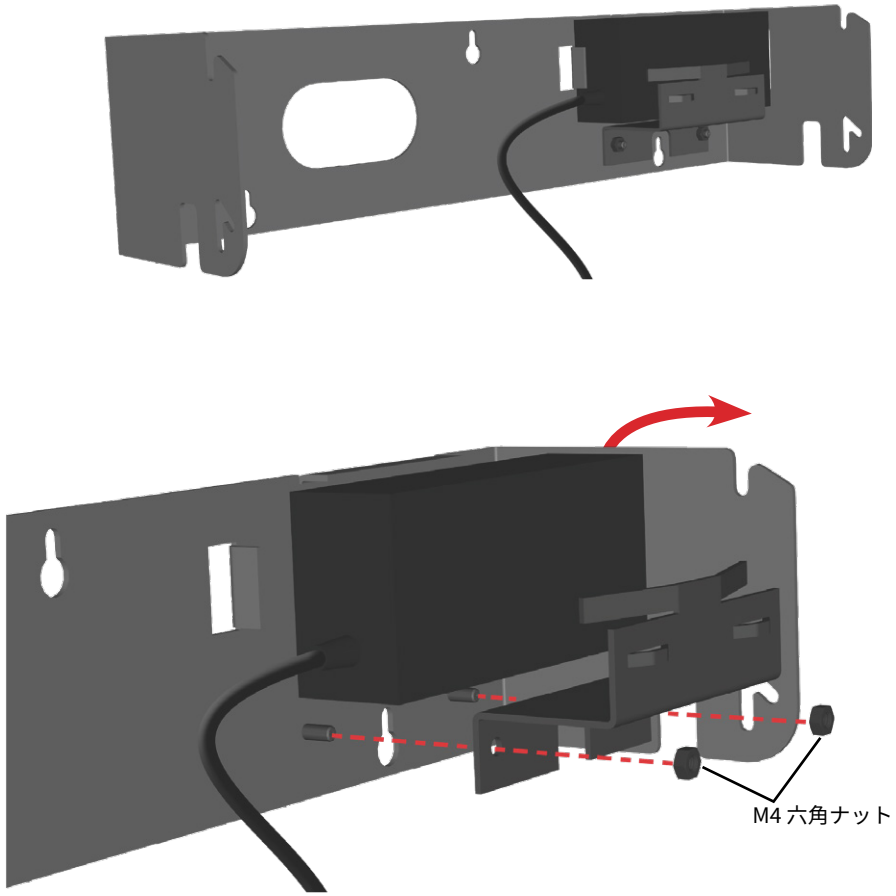


図 2 電源と電源サポートブラケットを取り外す

ラックマウントブラケットの取り付け（続）

3. 電源サポートブラケットを六角ナットとスタッドボルトを使用して長い方の（R）ラックイヤーに取り付け、電源に電源コードを接続します（図 3）。
4. 手順 1 で取り外した M4 ネジを使用し、長い方のラックイヤーと電源のユニットをコントローラー右側に取り付けます（図 4）。ブラケットとコントローラーにはそれぞれ R/L 表示がされています。表記に合わせて正しく取り付けてください。

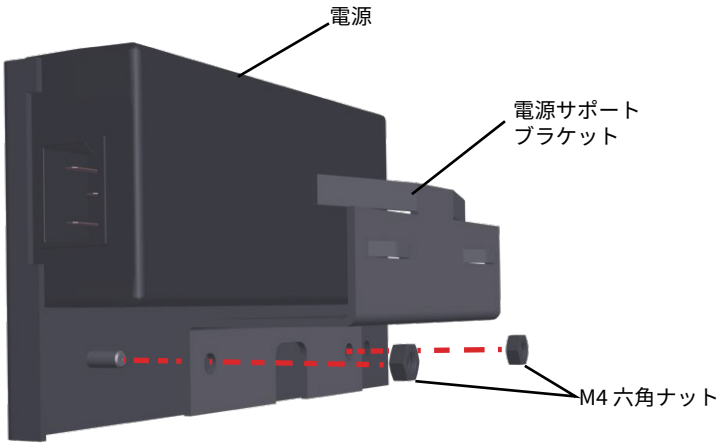


図 3　電源と電源サポートブラケットを長いラックイヤーに取り付ける

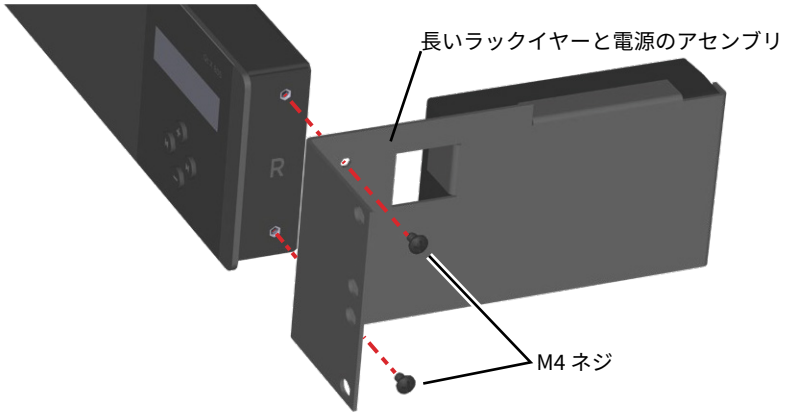


図 4　長いラックイヤーをコントローラーに取り付ける

5. Qt X コントローラーをラックに取り付けます（図 5）。コントローラーをラックに取り付けるための金具は付属していません。電源コードを背面の電源に接続します。

⚠ コントローラーをラックに取り付ける**前に**すべての接続を完了させておくと設置が簡単です。一度ラックに取り付けると、背面パネルにアクセスするためにコントローラーを前面に引き出すことはできません。

ケーブルタイを使用すると余分なケーブルをきれいに収納でき、ケーブルの絡まりも防ぎます。

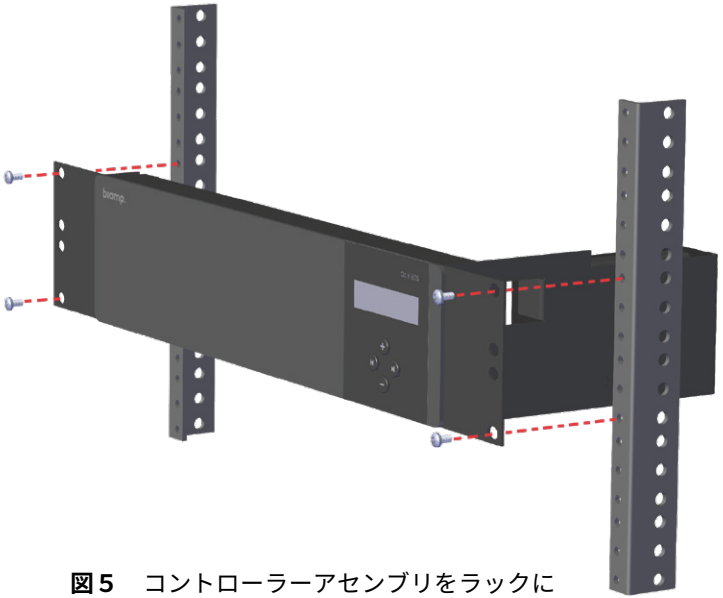


図 5　コントローラーアセンブリをラックに取り付ける（取付金具は付属しません）

ウォールマウントブラケットの取り付け

Qt X 805 コントローラーは手順 1 から始めてください。Qt X 800 コントローラーは手順 3 から始めてください。

1. コントローラーにラックマウントブラケットが取り付けられている場合は取り外し、取り外した M4 ネジをウォールマウントブラケットに取り付けます（図 6）。
2. 電源サポートブラケットを長い（R）ラックマウントブラケットから取り外します（図 7）。六角ナットは保管しておいてください。

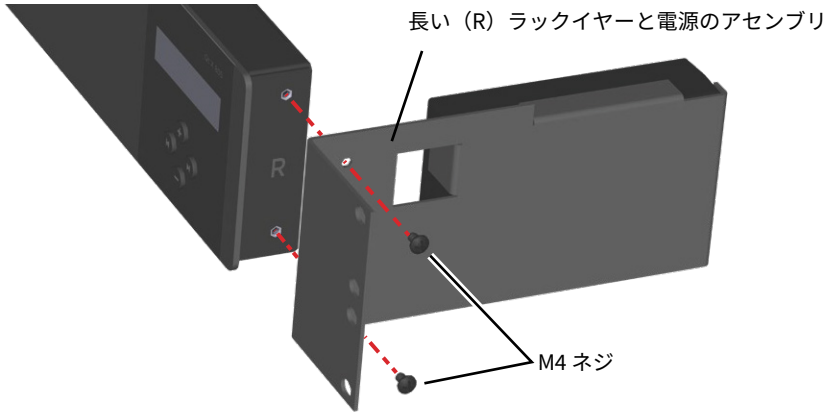


図 6　ラックマウントブラケットをコントローラーから取り外す

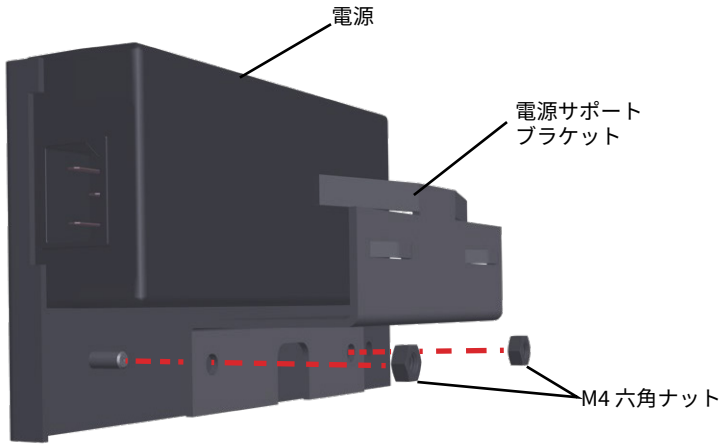


図 7　電源と電源サポートブラケットを長いラックイヤーから取り外す

3. 電源サポートブラケットを六角ナットとスタッドボルトを使ってウォールマウントブラケットにゆるく固定します。電源コードを接続した電源を下図のように配置し、ボルトを締めます（図 8a & 8b）。

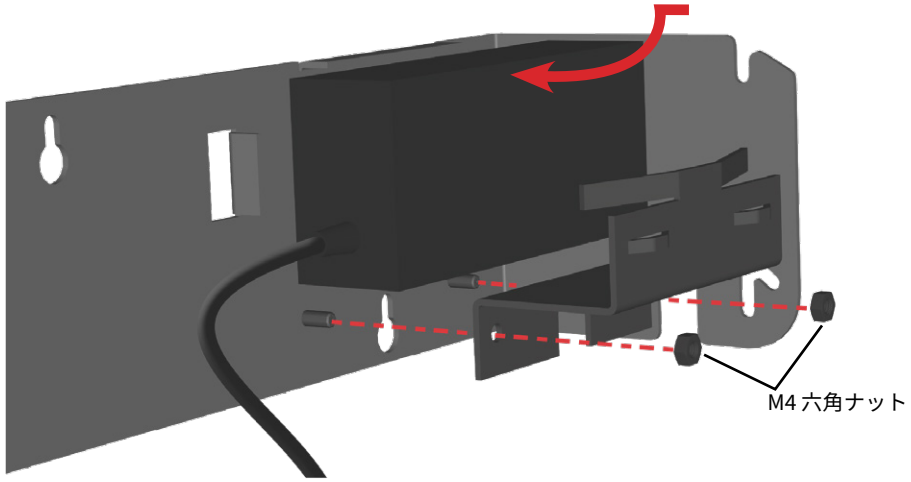


図 8a　電源と電源サポートブラケットを取り付ける

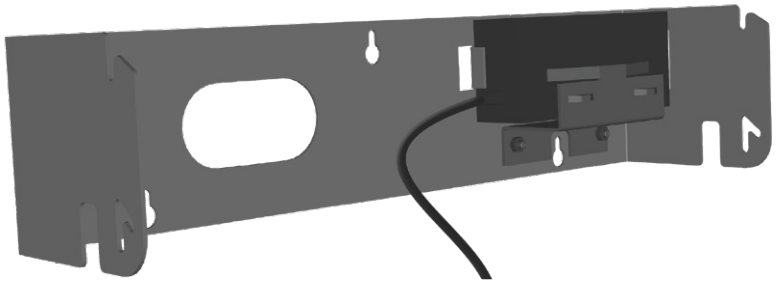


図 8b　電源を取り付けたウォールマウントブラケット

ウォールマウントブラケットの取り付け（続）

4. ウォールマウントブラケットを希望の位置に配置し、固定穴部分の印をつけます。ドライウォールやシートロックに取り付ける場合、1/4" ドリルビットを使って取付穴を作り、プラスチック製のアンカーを取り付けます。

   重要：取付穴を作る際にウォールマウントブラケットをテンプレートとして使う場合、コントローラーユニットは取り付けていない状態で行ってください。これにより、コントローラーやポートに粉塵などが入り込むのを防ぎます。

5. コントローラーを下部の穴がウォールブラケット両サイドのスロットに合うように設置します。ブラケットが動くよう、ネジをゆるく取り付けます。上部の穴にもネジをゆるく取り付け、ブラケットの上部スロットを挟み込まないようにしてください（図 9）。コントローラーユニットは、壁への取り付けと配線のため、前方に回転させることができます。

6. ネジをプラスチック製アンカーに取り付け、ブラケットをネジの頭に引っ掛けられる程度の余裕を残しておきます（図 10）。ブラケットのキーホールにネジの頭がはまるように位置を合わせ、下方向にスライドさせてネジを固定します。その後、ネジを締めてブラケットを壁にしっかり固定してください。

   ⚠ ネジを取り付けるため、コントローラーは前方に回転した状態にしておきます。

7. すべての配線を Qt X の設置ガイドに沿って進めます。コントローラーを元の位置に引き上げるよう回転させ、下に動かすと運転時のポジションでロックが掛かります。サイドのネジを締め、ブラケットに固定します（図 11）。

   ℹ ケーブルタイを使用すると余分なケーブルをきれいに収納でき、ケーブルの絡まりも防げます。

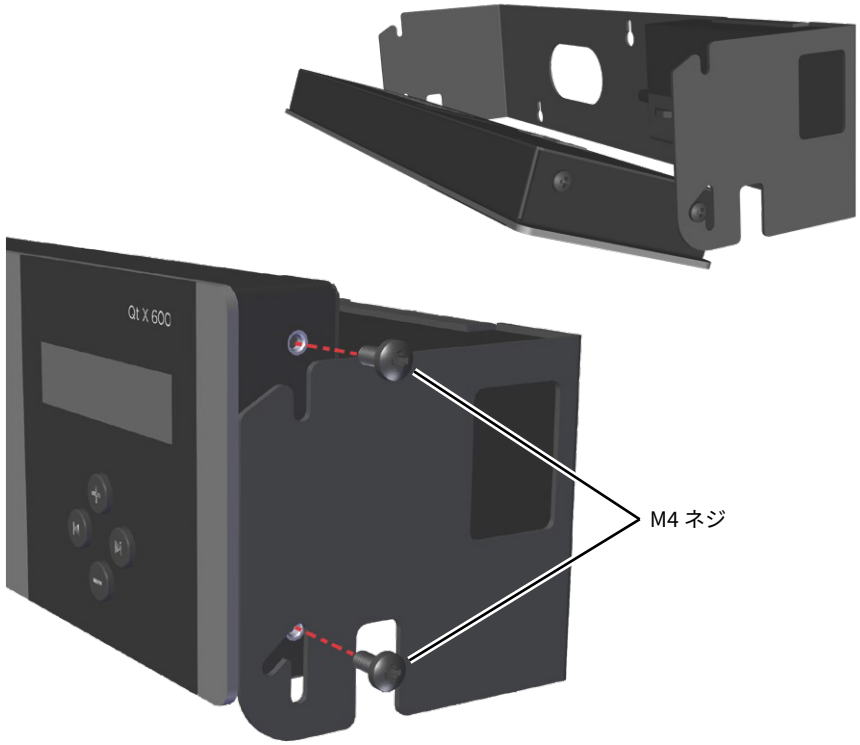


図 9　ウォールブラケットにユニットを取り付けユニットを前方に回転させる

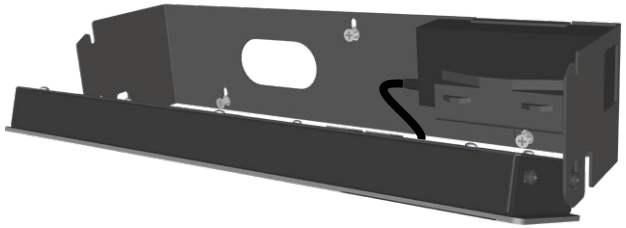


図 10　ユニットとウォールブラケットを取り付ける

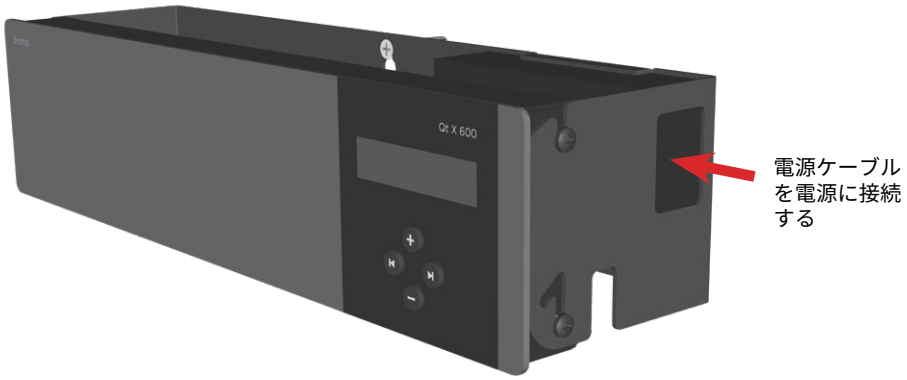


図 11　運転時ポジションのコントローラー

プレナムブラケットの取り付け

プレナムブラケットキットには、ブラケット（ペア）と M4 ネジが付属します。このブラケットは、天井レールにフィットする 3 種類の構成に対応します（丸で囲った図参照）。3 つの構成の中から最適なものを選びます（図 12-14）。ブラケットには R/L が示されています。

コントローラーが他のブラケットに取り付けられている場合は取り外し、取り外した M4 ネジをプレナムブラケットの固定に使用します。それぞれの構成に示した図に沿って適切な穴にネジを取り付け、各ブラケットをしっかり固定してください。十分に固定するため、両方のブラケットは同じ構成で取り付ける必要があります。コントローラーがブラケット内で動かないよう、ネジはしっかり締めてください。使用していない穴のいずれかに安全ケーブルを通すことで、コントローラーのズレを防止できます。

重要事項：

1. コントローラーが下を向く構成の場合、M4 ネジが追加で必要になります。このネジは、下部の穴に取り付け、コントローラーが動くのを防ぎます。
2. プレナムスペースで使用する場合、配線ケーブルはプレナム対応のもののみを使用してください。
3. 設置者は、設置時に地域の建造物向けの安全規格などに沿った設置が求められます。

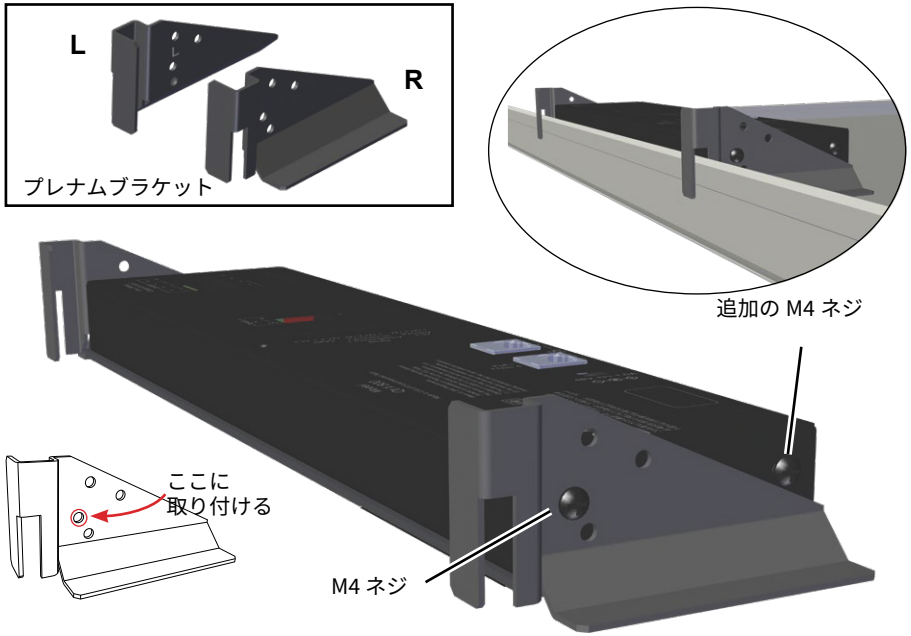


図 12　コントローラーが天井タイルの反対側を向く構成
（M4 ネジをパネルの両側面に追加で取り付け動かないように固定する）

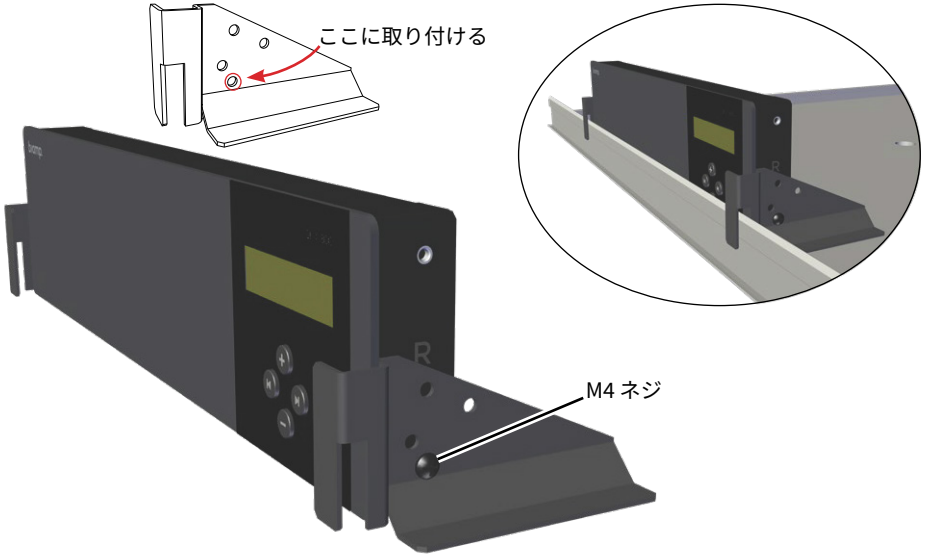


図 13　コントローラーがブラケットの底面と同一平面上になる構成

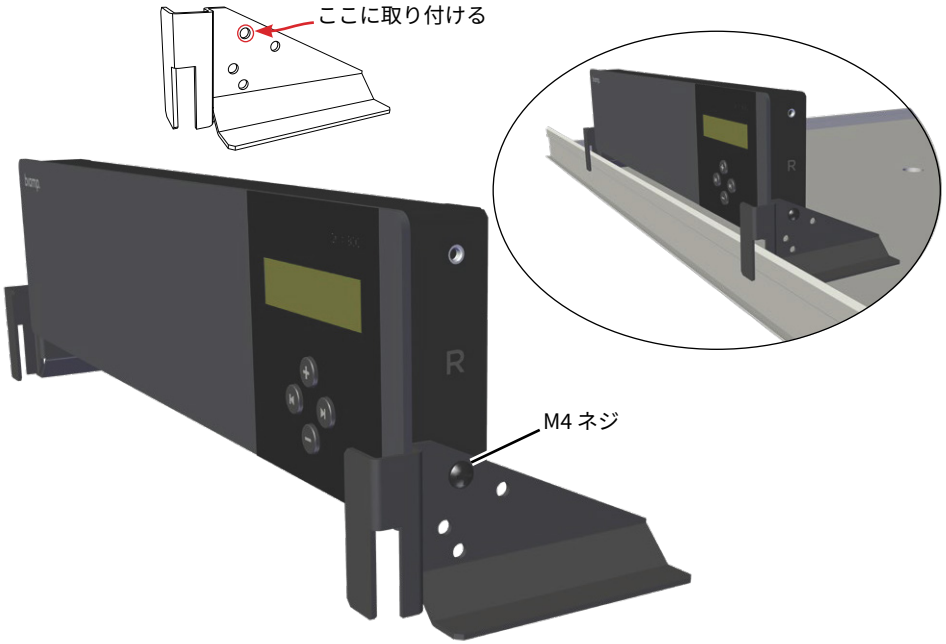


図 14　コントローラーがレールの上にくる構成

biamp.™

ONKYO TOKKI LTD.